

# 恐竜ランドセル®を核にした新ブランドの拡張と事業拡大

会社名 山耕株式会社  
 所在地 福井県越前市小松2-23-20  
 従業員 24名  
 資本金 1,000万円  
 売上高 非公表  
 業種 学生服・体操服・ランドセルの卸・小売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 地域の人口減少や少子化の影響で既存の学生服・体操服の卸・小売事業の環境が厳しくなりつつある中、新たな事業の柱を育てていく必要があり、オリジナル商品「恐竜ランドセル®」の拡充や、恐竜に関するそれ以外の商品・サービスも取りそろえ、恐竜ブランドの確立に取り組んでいた。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- ランドセル販売等を行う直営小売店「ikuLab(イクラボ)」から、恐竜ブランド「ダイナソーベース®」へとブランドコンセプトを明確にしていく戦略を検討するとともに、模倣品対策・ブランド保護策にも配慮することで、取扱い製品の幅を広げる道筋がついた。また展示会での見せ方や情報発信についてのスキルアップが図られた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 展示会出展やプロモーションも行いながら、一層、「恐竜ランドセル®」を核にした「ダイナソーベース®」の世界観を確立していく、商品の魅力を高めていく。
- イベント開催、ランドセル以外の商品開発、他者とのコラボなどにも取り組みつつ、事業を拡大させていく。

## 加速的支援を受けた事業や商材



恐竜専門店「ダイナソーベース®」では、恐竜ランドセル®シリーズを中心に、恐竜好きな子供たちがワクワクする体験や、心躍る恐竜グッズを取り扱うことをミッションとしている。

【出典】ダイナソーベース(山耕株式会社)ホームページ  
<https://dinosaur-base.com/>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略の更新	既存事業と「恐竜ブランド」確立を含めた新規事業のビジネスモデルの整理が必要だった。
マーケティング	展示会での販売に注力する中、現在の体制・やり方では、売上げ目標に届かない見込みだった。
ブランディング	イクラボ(売店名称)で取り扱う1つの看板商品としてダイナソーランドセルがある関係性であり、早い段階で後者(ダイナソーブランド)を主軸に展開していきたかった。
知財対応・契約対応	出願した商標をより適切に活用する余地があった。また、デザイナーとのイラストの取扱いについて曖昧な部分が残っていた。



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業戦略の更新	・ 売上げ目標達成に向けた販売手法、PR手法の 一體的な検討・ブラッシュアップを行うに至った。	中小企業診断士
マーケティング	・ 展示会でのより良い魅せ方(VMD)、体制充実に 向けた接客ノウハウの見える化・共有、展示会以 外の販売方法、メディアでの情報発信について 要領を得た。	中小企業診断士 マーケティング 専門家 VMD専門家
ブランディング	・ ブランド体系の再整理、ブランドロゴの視認性改 善、「ダイナソーベース®」ブランドの価値・知名度 を高める施策考案に至った。	中小企業診断士 ブランド専門家
知財対応・契約対応	・ 係争を経験したこともあり、商標権・著作権等の 適切な取得と活用方法を理解した。 ・ デザイナーや製造委託先等との契約の締結に向 けてポイントを理解した。	弁理士 弁護士

(VMD:Visual Merchandising)

## 支援チーム紹介

主担当専門家:中小企業診断士 佐藤悟

活用専門家:マーケティング専門家、VMD専門家、ブランド専門家、弁理士、弁護士

知財総合支援窓口担当者:福井県知財総合支援窓口 奥田千鶴

PO(プログラムオフィサー):田中和男